

自令和3年4月1日至令和4年3月31日

## 南房総市地域包括支援センターア事業報告書

### I 総括的概要

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1年であった。富浦中学校より依頼のあった生徒への認知症サポーター養成講座も中止となった。地域のケアマネによるサロン見学も、サロンそのものが中止になり出来なくなった。当地域の地域包括ケアの動きは大きな岐路に立たされたのである。ただ、そうした中でも、富浦地区老人会対象の認知症サポーター養成講座は実現した。個別地域ケア会議は予定通り6回行うことが出来た。内房地区の包括・在支会議・ミニ研修もWeb（Doom）を利用して行った。

コロナ禍における地域包括ケアは、感染症対策を行いつつ、出来る事を見つけ出す地道な努力が必要なのだと思う。

「今、出来る事を積み重ねていく。その中から新しいものが導き出されていく。」という当初の信念を忘れずに、不断の努力を積み重ねていきたいと考える。

### II 事業報告

- (1) 名 称 南房総市地域包括支援センター アイリスの里  
(内房高齢者相談センター)  
(南房総市富浦町深名1170番地1)
- (2) 期 間 自令和3年4月1日 至令和4年3月31日
- (3) 職員体制

職 名	資 格	職 員 氏 名
室長（管理者） 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員 社会福祉士 精神保健福祉士 介護福祉士	伊 藤 厚 司
保 健 師 等 (経験のある看護師)	看護師 介護支援専門員 社会福祉士	平 井 君 代 (令和3年4月1日～ 令和3年10月31日)
保 健 師 等 (経験のある看護師)	看護師	榎 橘 明 美 (自令和4年3月1日～)
社 会 福 祉 士	社会福祉士 精神保健福祉士 介護支援専門員	山 本 明 弘

## (4) 会議・地域のネットワークへの取り組み

開	催	日	会	議	等
令和3年	4月	8日	三芳地区	民生委員会	出席
令和3年	4月	9日	富浦地区	民生委員会	出席
令和3年	4月	13日	富山地区	民生委員会	出席
令和3年	4月	14日	基幹型地域包括支援センター		打合せ
令和3年	4月	23日	夕風の郷	運営推進会議	
令和3年	5月	11日	富山地区	民生委員会	出席 (消費者被害について説明)
令和3年	5月	11日	南房総市	介護支援専門員連絡会	役員会出席
令和3年	5月	13日	三芳地区	民生委員会	出席 (消費者被害について説明)
令和3年	5月	14日	富浦地区	民生委員会	出席 (消費者被害について説明)
令和3年	5月	18日	基幹型地域包括支援センター		打合せ
令和3年	5月	31日	富浦地区	(社会福祉協議会)	会議出席
令和3年	6月	9日	富山地区	民生委員会	出席 (自立支援に関する意識の共有化を図るための介護保険の正しい使い方の説明)
令和3年	6月	10日	南房総市	介護支援専門員連絡会	役員会出席
令和3年	6月	10日	三芳地区	民生委員会	出席 (自立支援に関する意識の共有化を図るための介護保険の正しい使い方の説明)
令和3年	6月	11日	富浦地区	民生委員会	出席 (自立支援に関する意識の共有化を図るための介護保険の正しい使い方の説明)
令和3年	6月	17日	基幹型地域包括支援センター		打合せ
令和3年	6月	24日	南房総市	介護支援専門員連絡会	主催研修参加
令和3年	7月	2日	夕風の郷	運営推進会議	
令和3年	7月	8日	三芳地区	民生委員会	出席 (令和3年8月から行なわれる介護保険施設の食費・居住費の改訂について説明する。)
令和3年	7月	9日	富浦地区	民生委員会	出席 (令和3年8月から行なわれる介護保険施設の食費・居住費の改訂について説明する。)
令和3年	7月	9日	南房総市	介護支援専門員連絡会	と健康支援課の打ち合わせ
令和3年	7月	13日	富山地区	民生委員会	出席 (令和3年8月から行なわれる介護保険施設の食費・居住費の改訂について説明する。)
令和3年	7月	14日	富山地区	協議体	出席
令和3年	7月	14日	基幹型地域包括支援センター		打合せ
令和3年	7月	27日	南房総市	地域包括支援センター	運営協議会
令和3年	8月	19日	基幹型地域包括支援センター		打合せ
令和3年	9月	15日	基幹型地域包括支援センター		打合せ
令和3年	10月	12日	富山地区	民生委員会	出席
令和3年	10月	14日	三芳地区	民生委員会	出席
令和3年	10月	19日	基幹型地域包括支援センター		打合せ
令和3年	10月	22日	夕風の郷	運営推進会議	

開 催 日	会 議 等
令和3年11月12日	富浦地区民生委員会出席
令和3年12月13日	三芳地区協議体出席
令和3年12月14日	富山地区民生委員会出席 (令和3年度に行われた内房地区の6回の個別地域ケア会議を説明する。)
令和3年12月15日	基幹型地域包括支援センター打合せ
令和3年12月22日	富山地区協議体出席
令和3年12月24日	夕風の郷運営推進会議
令和4年 1月11日	富山地区民生委員会出席 (南房総市で昨年末にあった消費者被害の実例の報告)
令和4年 1月18日	担当地域の居宅介護支援事業所に電話連絡をして、コロナ禍の状況について確認する。 その中であった2事業所からの質問について介護保険係に連絡確認をする。
令和4年 2月 9日	担当地域の居宅介護支援事業所に電話連絡をして、コロナ禍の状況について確認する。
令和4年 2月17日	担当地域の居宅介護支援事業所に電話連絡をして、コロナ禍の状況について確認する。
令和4年 3月 9日	デイサービスセンターりぼん 運営推進会議(書面会議)
令和4年 3月11日	富浦地区民生委員会出席 (令和3年度の内房地区の個別地域ケア会議の主な内容と地域課題の説明をする。)
令和4年 3月23日	協議体報告会出席
令和4年 3月28日	令和3年度安房健康福祉センター(安房保健所) 難病対策地域協議会書面会議

(5) 介護予防計画作成(国保連請求数)

年	月	当月サービス提供分請求数	内委託件数
令和3年	4月	202件	168件
	5月	199件	168件
	6月	196件	167件
	7月	198件	174件
	8月	201件	179件
	9月	194件	173件
	10月	199件	179件
	11月	197件	177件
	12月	195件	175件
令和4年	1月	192件	172件
	2月	196件	176件
	3月	189件	178件

## (6) 地域対象講習会概要 (説明者)

日付 (場所)	講習会名	参加人数
令和3年7月13日 (富山地区民生委員会)	介護保険説明会 講師 伊藤・平井 (包括) 地引・川口 (伏姫在支)	約20名
令和3年12月14日 (富浦地区民生委員会)	認知症サポーター養成講座 講師 片岡 (老人会長) 伊藤 (包括) 川名 (アイリスの里居宅)	約20名

## (7) 地域ケア個別会議の事例概要 (会議運営・司会)

開催日 (開催場所)	事例概要	地区
令和3年 5月20日 (三芳農村改善センター)	要介護4と要介護3の認認世帯。 全盲の妻が近くの川に行くので、庭に柵 を設けたことについて	三芳地区
令和3年 6月15日 (三芳農村改善センター)	強い信念のある配偶者が、介護サー ビスを断る事例について	富山地区
令和3年 7月16日 (三芳農村改善センター)	地域の方の支援が充実している事例につ いて	富山地区
令和3年10月13日 (三芳農村改善センター)	5月20日のケースのモニタリング会 議・地域課題検討会議	三芳地区
令和3年10月25日 (三芳農村改善センター)	6月15日のケースのモニタリング会議・地 域課題検討会議	富山地区
令和2年11月30日 (三芳農村改善センター)	7月16日のケースのモニタリング会議・地 域課題検討会議	富山地区

## (8) 南房総市内房地区包括在支会議・介護支援専門員対象研修の概要

開催日 (開催場所)	議題	参加者
令和3年4月27日 (Web会議) 内房地区包括在支会議	1) 令和3年3月に行われ た書面会議の確認 ・令和3年度内房地区介 護支援専門員の研修につ いて ・Webによる生活圏域毎 の会議研修について	三芳ケアステーション 小林・正木・野々宮・安部 在宅介護支援センター伏姫の 郷 地引・川口 葵の園 古川 内房高齢者相談センター 伊藤・平井・山本
令和3年6月21日 (Web研修 実地指導 未実地事業所対象)	1) 介護保険研修 ・実地指導はどのような ものか ・事前通知 ・当日の流れ ・当日は何を見られるの か	三芳光陽園 高橋・長谷川 伏姫の郷 地引・川口 りぼん 志村 ほっとケアライフ 吉田 葵の園・南房総 古川 三芳ケアステーション 小林 内房高齢者相談センター 伊藤・山本
令和3年9月14日 (Web会議) 内房地区包括在支会議	1) 令和3年度内房地区個 別地域ケア会議計画・研修 計画 (修正) について 2) 令和3年度上半期に行	三芳ケアステーション (小 林・正木・野々宮) 在宅介護支援センター伏姫の 郷 (地引・川口)

	<p>われた内房地区の個別地域ケア会議から抽出された地域課題の確認と政策提言について</p>	<p>地域包括支援センターアイリスの里（伊藤・平井・山本）</p>
--	--	-----------------------------------

(9) 新内房地区ケアマネ情報ボックス（包括からケアマネージャーへの情報提供）

発行日	内容	配布方法
令和3年4月28日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス11）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年4月27日に行われた内房地区包括・在支・地区ケアマネ協会議（Zoom）について</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>
令和3年5月24日 （文書配布）	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜・日曜・祝日・年末年始深夜に市に緊急に連絡を取りたい場合の方法について</li> </ul>	<p>メールで市内の居宅介護支援事業所に送付する。</p>
令和3年6月21日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス12）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年6月21日に行われた内房地区の研修について（Zoom）（介護保険ミニ研修）</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>
令和3年7月14日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス13）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年6月21日に行われた富山地区民生委員対象の介護保険研修について</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>
令和3年8月18日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス14）	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証について</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>
令和3年9月14日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス15）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年9月14日に行われた内房地区包括・在支・地区ケアマネ協会議（Zoom）について （内容） 1）令和3年度の内房地区の個別地域ケア会議・研修について 2）個別地域ケア会議から得られた地域課題について・政策提言について</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>
令和3年12月13日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス16）	<ul style="list-style-type: none"> <li>富浦地区民生委員対象の認知症サポーター養成講座について</li> <li>令和3年度に行われた内房地区の6回の個別地域ケア会議の説明</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>
令和3年12月20日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス17）	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者被害について 内房地区で起きた消費者被害について</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>
令和4年1月11日 （新内房地区ケアマネ情報ボックス18）	<ul style="list-style-type: none"> <li>区分支給額オーバーと本人・家族への説明について</li> </ul>	<p>事業所に訪問して直接ケアマネージャーに手渡しする。</p>

(10) 地域包括支援センター職員研修

開催日（開催場所）	研修内容等	参加者
令和3年11月11日	がん性疼痛マネジメントのプロセス（千葉県がんセンター主催）（Web研修）	伊藤・山本
令和3年11月23日	第17回在宅医療推進フォーラム（国立長寿医療研修センター 勇美記念財団主催）（Web研修）	伊藤・山本
令和3年12月6日	令和3年度千葉県高齢者虐待防止研修（現任者研修）（Web研修） 講師 コミュニティーネット ハピネス 土屋幸己先生他	伊藤・山本
令和4年3月21日	地域包括支援センター研修 説明者 伊藤 （虐待・個人情報の保護）	伊藤・山本 榎橋
令和4年3月25日	地域包括支援センター研修 説明者 榎橋・伊藤 （感染症）	伊藤・山本 榎橋
令和4年3月28日	地域包括支援センター研修 説明者 伊藤 （BCP）	伊藤・山本 榎橋
自令和4年3月1日 至令和4年3月31日	榎橋看護師 研修 指導者 伊藤	榎橋

### III 次年度に向けて

コロナ禍の中で地域包括ケアという理念を追いかける事が、この上もなく困難であるという事を痛感させられた1年であった。包括職員が地域の方から感染するというリスクもあるが、逆に包括職員がお年寄りに感染させてしまうというリスクもあるからだ。この問題は簡単ではない。試行錯誤しながら業務を行っていくしかない。

そして、その上で、「自立支援」という言葉だけに惑わされず、利用者本位の地域包括ケアの構築を目指さねばならない。